

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	多用途型日本手話言語データベース構築に関する研究
研究代表者	長嶋 祐二 (工学院大学・情報学部 (情報工学部)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成32年度
コメント	<p>本研究は、世界に先駆け、様々な入力方式の多次元手話データベースの構築方法の開発及び構築を目指す独創的な研究である。言語学や医療現場を含む社会一般への貢献だけでなく、その手話データベース構築手法を、日本から世界に発信する可能性が見込まれる。応募者らは手話に関わる各側面の研究で国際的に活躍しており、学術的にも社会的波及効果においても成果が期待できる。</p> <p>研究費の妥当性、通常以上に詳細な進捗検証の必要性等について懸念もあったが、以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>